

解説

地理(20 点)

【1】は世界地理と日本地理に関する問題です。

【1】

(1)大陸と海洋の名称を答える問題です。「六大陸・三大洋」に関する基本的な問題ですが、場所や漢字を間違えやすいので注意が必要です。

(2)5 つの国の位置やその特徴が示されているものを選択肢から選ぶ問題です。代表的な国や時事問題と結び付けた国が問題になっていますので、民俗の風習や世界遺産を確認すると共に、ニュースや新聞などにも目を通すようにしましょう。

(3)日本の地方名を答える問題です。漢字の間違いに注意するとともに、指定範囲がどこまでか地図をよく見るようにしましょう。

(4)日本の都道府県名を答える問題です。漢字の間違いに注意して答えるようにしましょう。また、必ず「県」や「府」などを書き忘れないようにしましょう。

(5)農作物の都道府県別生産割合のグラフを参考に、都道府県名を地図から選ぶ問題です。各都道府県の特産物を確認するとともに、都道府県の位置も間違えないようにしましょう。

歴史(20 点)

【2】は古代から江戸時代中期までをあつかった問題。【3】は江戸時代の末ごろからの時代をあつかった問題になっています。

【2】

(1)各時代で活躍した7名の人物にあてはまるできごとを選択肢から選ぶ問題です。教科書にも写真が出てくる人物たちなので、「誰が」「何を」したのか、「人物」とその人物が「実施したこと」をしっかりと結びつけておきましょう。

(2)3つの建築物(寺社)に関係の深い人物を(1)の人物図から選ぶ問題です。各時代の文化には建築物・美術作品など多くのものがあります。その中でも宗教にかかわるものは教科書にも多く掲載されています。今回の3つの建築物のように文化に関連する人物も数多くいますので、結びつけられるようにしましょう。

【3】

(1)ノルマントン号事件から江戸時代に結んだ不平等条約の内容を答える問題です。

(2)カード②の風刺画、中国との戦争、朝鮮をめぐる問題から争いが起こったことから「ロシア」を導き出す問題です。3つのヒントを理解できれば容易な問題です。

(3)(2)の問題にかかわる問題です。日本海海戦をヒントに「東郷平八郎」を答える問題です。

(4)海外との交渉に関する問題です。明治時代は江戸時代に結んだ不平等条約を改正するために様々な交渉を行っていきます。イギリス・治外法(領事裁判)権・1894年から導き出せますが、1911年に関税自主権を回復させた「小村寿太郎」が近い時代の人物なので間違いないようにしましょう。

(5)日露戦争に参加している弟を思う詩「君死にたまふ(もう)ことなかれ」を詠んだ「与謝野晶子」を答える問題です。同時代に活躍した「平塚らいてう」や「樋口一葉」などと間違えないようにしましょう。

公民(10 点)

【4】

基本的人権と国民の義務についてです。

基本的な事項を勉強していれば解くことができる問題ばかりでした。

国民の義務については、βとΘで少し難しかったかもしれませんが、権利と義務となれば「勤労」という言葉が出るようになって欲しいです。